

平成29年度 海洋システム工学交流会

学域3回生 芦田 峻

平成29年5月11日、毎年恒例となっている海洋システム工学交流会が行われました。海洋システム工学交流会は、年に1度、主に学部生を対象として、海洋システム工学分野における教育・研究に対する理解を深め、卒業した先輩方や船舶海洋分野で活躍している方々と親睦を深めて頂く行事です。また海洋への新入生である二回生、先輩・後輩や先生とのつながりをつくることを目的とし、学域の三回生が幹事となり開催しています。平成29年度の交流会は私とB3の秋田で幹事を務めました。下記が今回の交流会のプログラムです。

主 催： 大阪府立大学工学研究科航空宇宙海洋系専攻海洋システム工学分野
共 催： 大阪府立大学工学域機械系学類海洋システム工学課程 学生FD
後 援： 鷗朋会(大阪府立大学海洋システム工学 同窓会)

<プログラム>

16:15~16:20 開催のご挨拶 & 交流会の趣旨説明
16:20~17:10 日本財団「海洋開発人材育成コンソーシアム」の活動紹介
山崎 哲生 教授
17:10~17:25 日本財団「海洋サマースクールプログラム」に参加して
大学院博士前期課程2年
木村 暁 さん
17:30~19:30 懇親会 (学術交流会館 サロン)

今回も昨年と同じく学術交流会館で開催しました。今回の交流会では、海洋開発分野における最新の話題として、山崎哲生教授に「海洋開発人材育成コンソーシアム」の活動に関してご講演頂くとともに、このコンソーシアムが企画する海外サマースクールに参加したM2の木村暁さんに、その内容についての講演をしていただきました。海外に行って勉強をすることができるサマースクールは非常に興味を引くものでした。

私自身、昨年の交流会で初めて「海洋開発人材育成コンソーシアム」につい

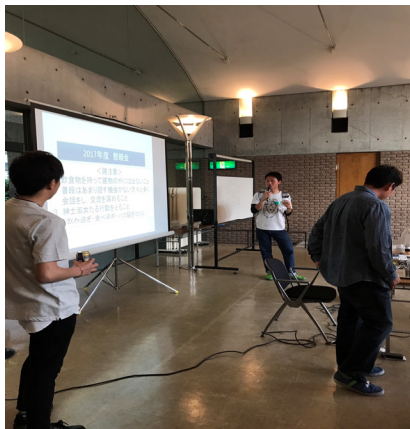
ての話を聞きました。その後、実際に「ライザー式科学掘削船「ちきゅう」を知り尽くそう」というセミナーに参加し、講義で知識を学ぶだけでなく実際に深海での掘削の難しさや安全のための設備を見学、体感することができ、さらに他大学の土木工学、海洋環境工学、船舶工学、石油工学や資源工学の分野を勉強している学生たちと交流できるセミナーは非常に有意義であると感じました。山崎先生の話聞いて、興味を少しでももった方は海洋開発人材育成コンソーシアムをぜひ調べてほしいと思います。また自分自身も参加したいと考えています。



山崎先生と学生の交流



B3 林と懇親会の様子



懇親会司会の B3 秋田



懇親会全体の様子

講演の後に行われた懇親会では、海洋への新入生である二回生、先輩・後輩や先生のつながりをつくるという目的を達成するために、6チームに分かれていただき、クイズや二人羽織などといったチームでの協力が不可欠となるイベントを用意しました。優勝したチームにはケーキを差し上げました。また参加

された皆さんには、たくさんのピザやお寿司、ドーナッツ、最後には恒例のハーゲンダッツを召し上がっていただきました。そして懇親会の目玉としてお酒「魔王」やビールサーバーを準備し、大変好評をいただきました。個人的に盛り上がるかどうか心配していたのですが、皆様の協力もあり想像以上に盛りあがっていて安心しました。盛り上げていただいた方々ありがとうございました。機材のトラブルは多少ありましたが無事に終わることができてよかったです。また交流会を開催するにあたりご協力いただいた先生方、お手伝いしてくれた三回生、本当にありがとうございました。交流会の様子を見て、これが他の学科にはない海洋のいいところであると改めて感じ、これからも後輩に引き継いでいくべきだなと思いました。



新2回生も来てくれました！！



交流会後の自習室での三回生集合写真